

朝霞駅南口駅前通りアメニティーロード化
交通社会実験

＜交通量調査結果＞

平成 28 年 3 月

朝 霞 市

朝霞駅南口駅前通りアメニティーロード化交通社会実験 交通量調査結果

— 目 次 —

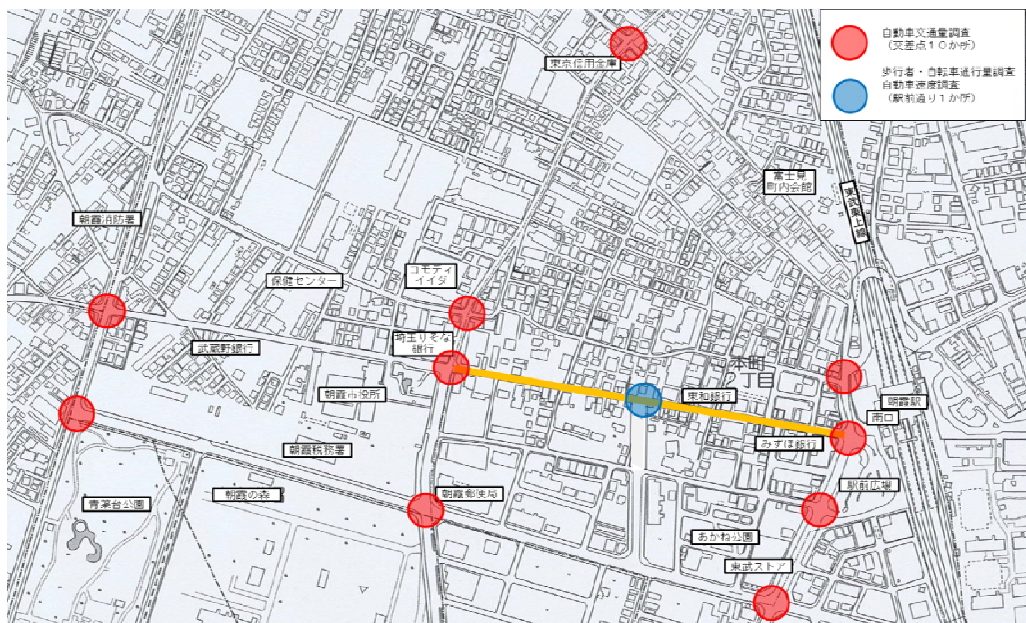
1. 調査概要	1
1.1 調査目的	1
1.2 調査の様子	1
2. 調査結果（概要）	2
2.1 自動車交通量調査	2
2.2 自動車速度調査	3
2.3 歩行者・自転車交通量調査	4

1. 調査概要

1.1 調査目的

一方通行化の交通社会実験時の道路交通量や歩行者等の通行状態を把握することを目的とする。調査内容は自動車交通量調査、歩行者等通行量（歩行者、自転車）及び自動車速度調査を実施した。

【実施日】平成27年11月1日（日）、11月5日（木）の7時～19時（12時間）



1.2 調査の様子



【交通量調査（駅前交差点）】



【交通量調査（本町1丁目交差点）】



【交通量調査（本町2丁目交差点）】



【交通量調査（百歩ラーメン前）】

2. 調査結果（概要）

2.1 自動車交通量調査

今回実施した自動車交通量調査の東西方向の交通量の増減について、平成 25 年度の調査結果と比較した。なお、以下は平日での比較となる。

<東方向>

- 東向きの交通は、5 路線のうち駅前通り以外の路線で減少

<西方向>

- 駅前通りが通行できなくなった西向きの交通では、4 路線とも増加
- 特に 2 車線道路である市道 1000 号線は 12 時間で 387 台の増加（約 12%増）となり、1000 号線が大部分の迂回を分担したと考えられる。一方で、市道 703 号線が 12 時間で 229 台の増加（約 42%増）、市道 1 号線が 12 時間で 146 台の増加（約 14%増）となり、これらも交通負荷が高くなった。

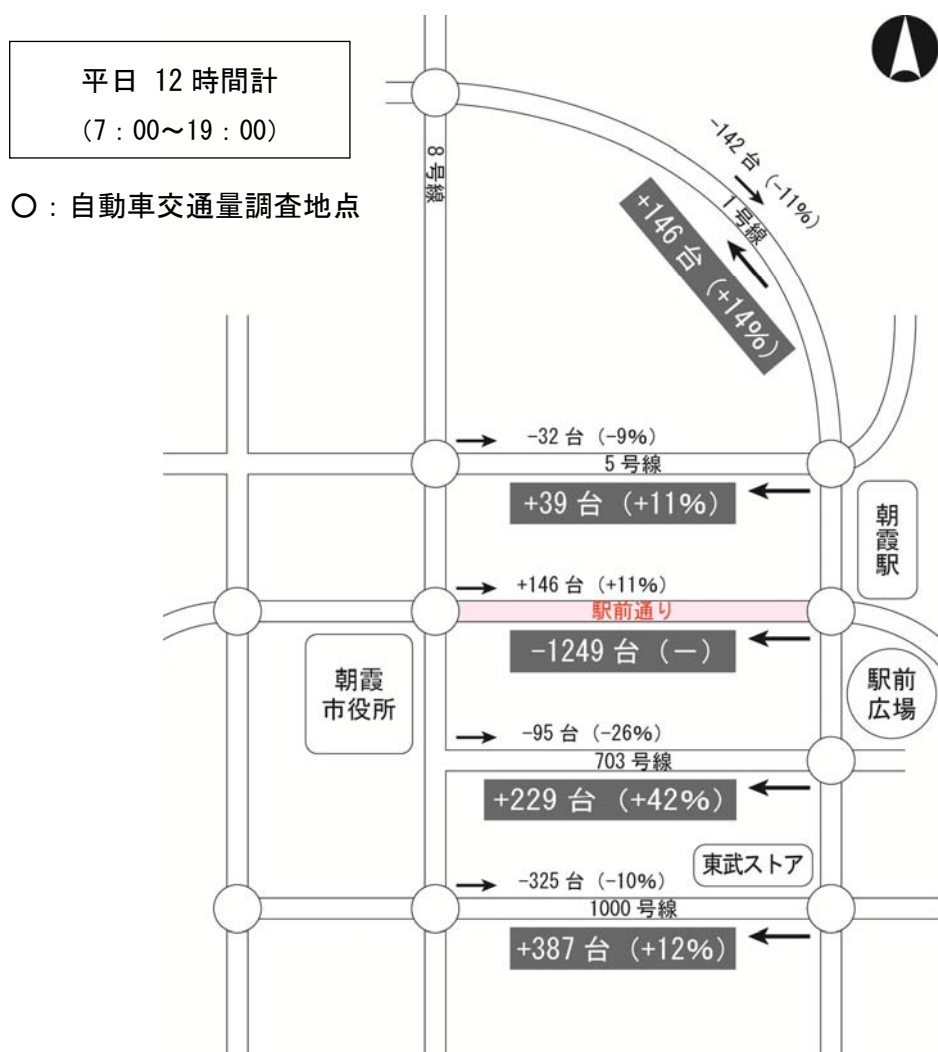


図 2-1 自動車交通量の増減（H25 調査との比較）

2.2 自動車速度調査

今回実施した自動車速度調査について、平成 25 年度の調査結果と比較した。なお、平成 25 年度調査では休日の調査は実施しなかった。

- 駅前通りを走行する自動車の速度は、実験前は平均速度が 29.0 km/h であったのに対し、実験時は 24.5km/h となり、4.5 km/h 走行速度が低下している。
- 車種別に走行速度をみると、乗用車が最も大きい。

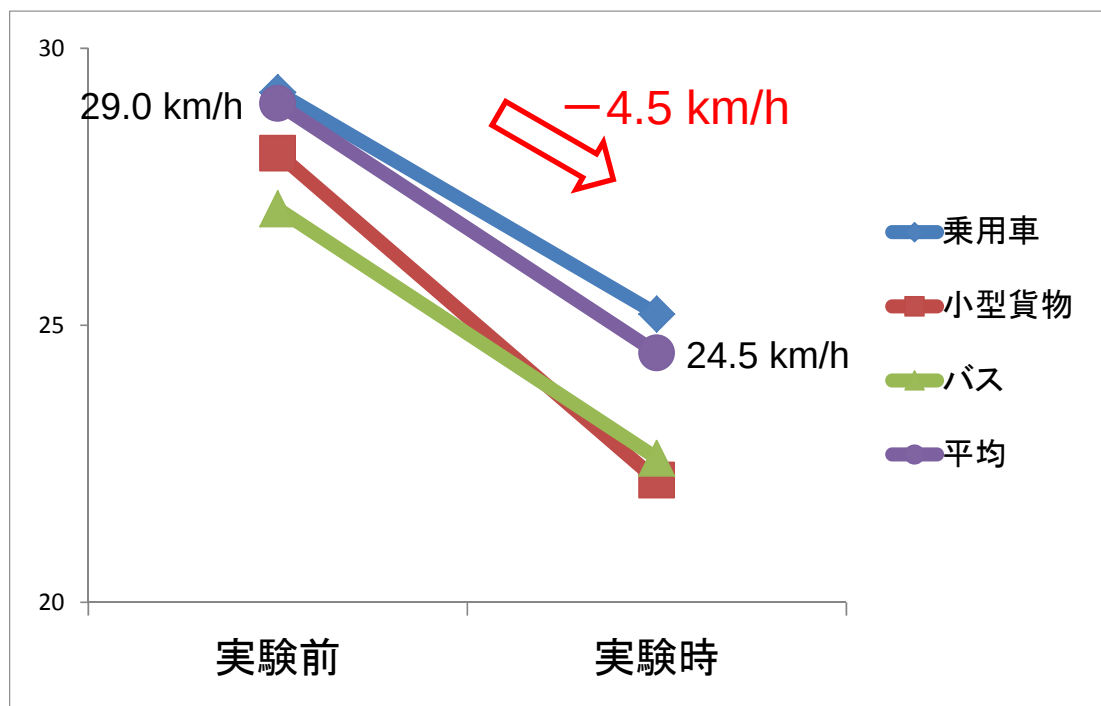


図 2-2 自動車速度の増減（H25 調査との比較）

2.3 歩行者・自転車交通量調査

今回実施した歩行者・自転車交通量調査について、平成 25 年度の調査結果と比較した。

- 歩行者の交通量は 2 年前の対面通行時と比べて、平日は 5% 増加して 12 時間で 3,627 人となり、休日は 60% 増加して 12 時間で 2,706 人となった。
- 自転車の交通量は平日が 11% 増加して 12 時間で 1,458 台となり、休日は 17% 増加して 12 時間で 1,145 台となった。

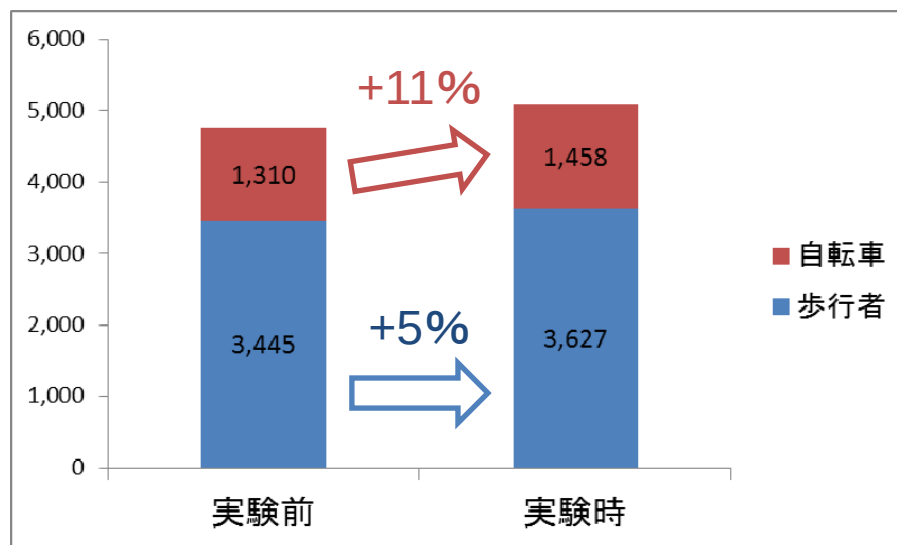


図 2-3 歩行者・自転車交通量の増減【平日】(H25 調査との比較)

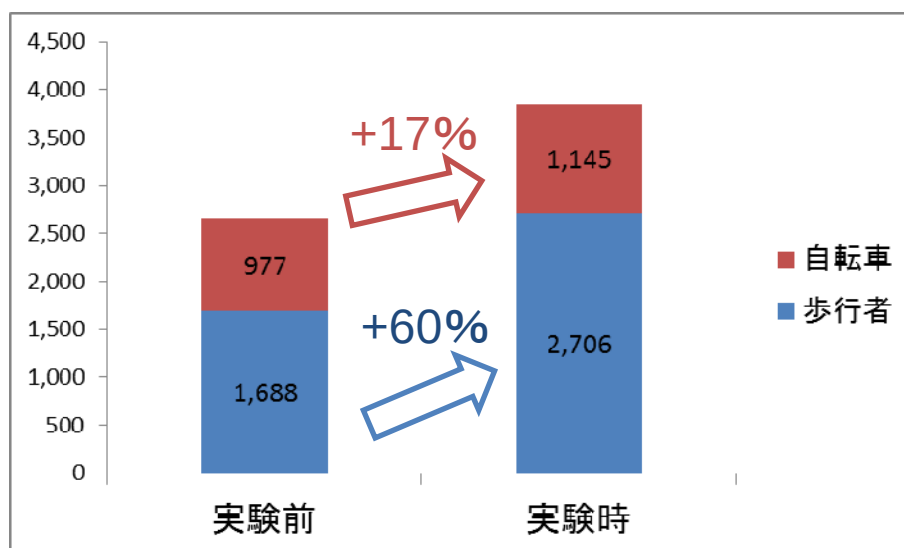


図 2-4 歩行者・自転車交通量の増減【休日】(H25 調査との比較)